

関ヶ原町 全地区

令和6年度

【地域の概要】

- 関ヶ原町は岐阜県の西部に位置し、町内全体が耕作条件が不利な中山間地域である。管内の農地277haのうち70ha（R7.3）が担い手に集積され、集積率は25.5%となっている。
- 遊休農地面積は12.2haであり、遊休率が4.4%と高くなっている。
- 農業委員10名、農地利用最適化推進委員3名で活動している。

①取組開始前の状況や課題

- 活動記録簿の集計や農地パトロールへ同行など事務局の業務量が多く、省力化する必要があった。
- 利用状況調査では、事務局が各地区の地図を紙で印刷しており、調査準備の作業時間が多く、委員に渡す紙資料も膨大であった。
- 全委員に貸与したタブレットを活用し省力化するためには、利用したことがない委員が日常的にタブレットに触れ、操作に慣れることが必要であった。
- また、紙による総会資料や通知の準備に経費や作業時間がかかっており、タブレットによる削減が求められる。

②取組内容

タブレット活用に向けたサポート

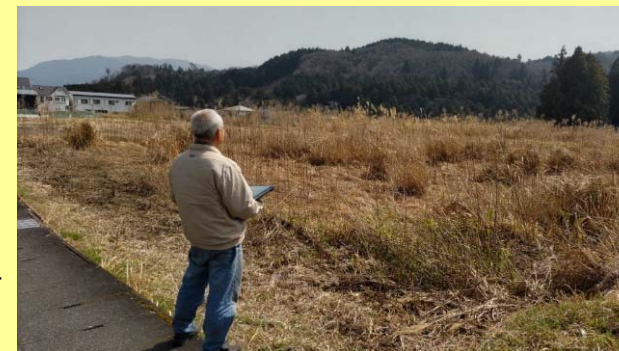
- 農地パトロール実施に向けて、6月に農業委員・推進委員を対象に、eMAFF現地確認アプリの操作研修を実施。



操作マニュアル

タブレット活用による農地パトロール実施
(令和6年10月)

- eMAFF現地確認アプリによる農地パトロールを実施。
- 各委員がタブレットを使い、調査結果の入力、現地写真の登録を行った。
- 紙地図も併用することで、従来の調査方法を残し、不安なくタブレットの利用を進めた。



パトロール風景

③今後の展開と方向性

更なるタブレット活用を推進

- 令和6年度に引き続き、令和7年10月から行う利用状況調査において、委員が各自でeMAFF現地確認アプリを活用できるよう、総会後の研修、質問対応や個別のフォローアップを実施。
- ワンデスクシステムによる農業者の意向把握や活動記録簿入力もできるよう支援していく。